

サクランボ特報

No.5

令和6年7月1日
JA中野市営農センター
JA中野市サクランボ部会

収穫終了後は、園内を再度見回り樹冠の明るさを確保（夏季剪定及び秋季の誘引等）し、次年度の花芽と樹体の充実を図りましょう。併せて、樹体を健全に保つために速やかに追肥を実施してください。また、梅雨明け以降は、気温の上昇とともにハダニ類の発生密度が高まります。薬剤散布は間隔を空けすぎずに実施しましょう。

雨除けハウスにおいては、次年度の花芽充実・双子果対策として

- ① 収穫終了後すみやかに被覆を除去 ② 定期的に灌水 を実施して下さい。

1. 薬剤散布 *隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい。

収穫終了後の散布（7月上～中旬）対象病虫害：灰星病、炭そ病、幼果菌核病、褐色せん孔病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ、ハマキムシ類、ナミハダニ類、アメリカシロヒトリ

散布時期	・7月上中旬 収穫終了後 直後	
散布薬剤	水100ℓ当り	【定期散布】散布日 ____月 ____日(____)
		散布量_____ℓ
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml
	トレノックスフロアブル	200ml（21日前、5回）
	エコマイルト顆粒水和剤	50g（前日、1回）
	④ダイアジノン水和剤34	100g（14日前、2回）
散布量	600ℓ/10a	
注意事項	<p>①【せん孔病対策】 トレノックスフロアブルに代えて、キンセット水和剤80の1,000倍（収穫後～落葉期、3回）を使用する。ただし、薬害が心配されるため、クレフノン100倍を加用する。</p> <p>②【ドリフト注意】 エコマイルト顆粒水和剤は、りんご・おうとう・なし・ぶどう以外登録がないので、他品目に飛散しないよう注意する。</p>	

次面も必ずご覧ください

対象病害虫：褐色せん孔病、ハダニ類、ケムシ類（ハマキムシ類）

散布時期	・ 7月下旬（前回から14日後）	
散布薬剤	水100ℓ当り	【定期散布】散布日 ____月 ____日（ ____ ） 散布量 _____ ℓ
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml
	ダニオーテフロアブル	50ml（前日、1回）
	トレノックスフロアブル	200ml（21日前、5回）
	サイアノックス水和剤	100g（14日前、2回）
散布量	600ℓ / 10a	
注意事項	①ダニオーテフロアブルを散布する際は、銅剤（オキシラン水和剤等）散布後45日以降とする。	

樹勢が弱い場合は、10a 当たりに追肥グリーン2号を1袋施用する。

問合先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）

栽培日誌の完全記帳、出荷時まで提出をお願いします。